

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

原発を作ってきた社会そのものを変換すること。決断する勇気を！

目先の利益、経済最優先、他人依存の象徴が原発。

(本紙 2 頁・映画「福島 六ヶ所 未来からの伝言」上映会
島田恵監督・講演会報告)



「福島 六ヶ所 未来からの伝言」監督・島田恵さん

原発は、

ふるさとを破壊し、地域を破壊し、

人間関係を破壊し、心を破壊する。

目先の利益、経済最優先、他人依存を追い求めた象徴が原発。

これ以上核のゴミを増やすのですか？ 地域にあるものを利用して、その中で循環していく暮らしの見直しから始めることが重要と思います。(講演会より)



【2月・3月の予定】 ※ 2/13 現在の予定です。

●地域での活動・催し

2/19 水 10時-12時
新たな米作りに向けて
(組合員による米の自給チャレンジ)
(本部 1階会議室)



●基幹運営・対外関係

2/28 金 10時～
第9 回定例理事会 (本部)
3/22 土 (会場) 12:30～
おしどりマコ・ケン
トークイベント (土浦市民会館)

※詳細は、同時折り込みのちらし(左記)、または常総生協のホームページをご確認ください。

先週加入された、常総生協の新しい仲間をご紹介します

～こんな理由で加入しました～

サツラク牛乳が大好きで加入します。
近所に住む母(常総組合員)が毎週注文してくれる「サツラク牛乳」が大好きです。今後は自分でカタログを見て注文したくなり、今回加入を決めました。今から商品が届くのが楽しみです。(取手市 Oさん)

今後、春の食材が少しずつ登場してきます。3月は竹村さんのいちごが旬。4月には田中のトマトも登場。気になる方がいらっしゃいましたらぜひご紹介下さい。

【2月2日(日) 映画「福島 六ヶ所 未来への伝言」上映会・島田監督講演会 報告】 目先の利益、経済最優先、他人依存の象徴が原発。

2/2 (日)、つくば研究学園の水戸信金2階会議室にて、島田恵^{しまだけい}監督をお招きして、監督の作品「福島 六ヶ所 未来への伝言」の上映会と講演会を開催しました。今回は、上映会後の講演会でのお話しをお伝えします。



当日は、たくさんの組合員、お友達、地域の方が見えました。脱原発暮らし見直し委員の皆さんによる進行にも感謝。

自然と海と山の幸の宝庫六ヶ所。なのに…

六ヶ所村のある青森県南部地域は、初夏のヤマセ（北西の風）が強い。米や葉物の作付には向かないが、ニンニク、長芋などの根菜類はトップクラス。また海が近く、鮭や昆布などの海の幸も豊富。

しかし、農業、漁業だけでは仕事が不足。1985年、国から要請された核施設を受け入れるしかなかった。

村の仕事の9割は核燃料に関連するという現実

福島原発事故後、脱原発の流れに変わるかと期待したが、実際は逆。原発、核燃料が止まったら仕事が無くなる、生活ができなくなる。工事だけでなく掃除、お弁当、民宿など。仕事の9割は核施設関連。「放射能事故は怖い、でも仕事が無くなるのはもっと怖い」。六ヶ所の人々は、そのせめぎ合いと不安の中にいる。

原発を作ってきた社会そのものを変えること。決断する勇気を！

目先の利益、経済最優先、他人依存を追い求めた象徴が原発。これ以上核のゴミを増やすのですか？地域にあるものを利用して、その中で循環していく暮らしの見直しから始めることが重要と思います。

【上映会・講演会に参加して】

汚染の問題、核のゴミ処理、何ひとつ処理できないまま原発を推進し、あるうことか原発輸出すらしようとしている自国に何としても立ち向かわねばならぬ思いです。皆さん小さな行動から力を合わせましょう。(つくば市T)

【六ヶ所村の歩み(核燃料サイクル関連)】

- ・1985年1/16 六ヶ所村村議会、核燃施設受け入れ決定。
- ・1986年4/26 チェルノブイリ原発事故。以降、反対運動盛んに。
- ・1991年2/3 核燃推進派の青森県知事北村氏四選。
- ・1991年9/27 六フッ化ウラン初搬入。
- ・1992年3/27 ウラン濃縮工場が本格操業。5/6 高レベル放射性廃棄物埋設施設着工。7/1 日本原燃発足、12/8 低レベル放射性廃棄物埋設施設操業開始。
- ・1993年4/28 再処理工場着工。
- ・1995年4/26 フランスからの返還高レベル放射性廃棄物初搬入。
- ・1998年10/2 再処理工場貯蔵プールに試験用使用済み核燃料搬入。
- ・2002年11/1 再処理工場で化学試験スタート。
- ・2004年12/12 再処理工場で劣化ウランを使ったウラン試験開始。
- ・2006年3/31 再処理工場でアクティブ試験開始。
- ・2010年10/28 MOX工場の建設着手。
- ・2011年1/25 東京電力東通原発が着工。3/11 福島第一原発事故、9/15 イギリスから返還高レベル放射性廃棄物が搬入。



島田恵さん(プロフィール)

映画監督、写真家。1959年東京生まれ。1986年のチェルノブイリ原発事故後初めて六ヶ所村を訪れ、核問題で揺れる村を取材。1990年～2002年まで六ヶ所村に在住。第7回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞。

【2月7日(金) 第29回・脱原発暮らし見直し委員会 報告】

お住まいの地域で「ミニ上映会」開催しませんか？

脱原発と暮らし見直し委員会(第29回)が、生協本部で開催されました。

- 2月7日(金) 10～13時、副理事長、専務、組合員の計10人が参加しました。
- 児玉順一先生の冊子「A Letter From Japan」の販売収益は、先生の意向もあり「関東子ども健康調査基金」にカンパすることで決まりました。
- 地域で「ミニ上映会」を開催する提案がありました。この間、委員会で企画の児玉先生の公開学習会、「福島 六ヶ所 未来への伝言」上映会、など、映像を通して知ることの力を委員みんなで実感しました。
- そこで、地域で「ミニ上映会」を開催し、みんなで考える場作りを少しずつ開始する提案がありました(右記参照)。

- 次回の脱原発委員会は3月3日(月) 10時～(場所は生協本部)。

「ミニ上映会」開催地を募集します！

- ・「行きたかったのに行けなかった！」「ニュース紙面ではなく、映像で見たい！」。そんな声にお応えして、まずは、第一弾として、以下の3つの上映会の開催地を募集します。
- ・少人数(3～5人程度)からでもOkです。

- 上映会① 「1.16 児玉順一先生講演会(録音)」 120分
- 上映会② 映画「福島 六ヶ所 未来への伝言」 90分
- 上映会③ 映画「放射性廃棄物～終わらない悪夢～」 90分

★生協までお電話・FAXか、注文用紙の「意見欄」に「上映会希望」とご記入頂ければご対応致します。(事務局)

[東海第2原発バルーンプロジェクト] ふうせんはどこへ飛んで行くか？ バルーンプロジェクト・サポーター募集！



会場の豊岡海岸。右上が東海第2原発。

東海第2原発にもし事故が起きたら、被害はどこまで及んでしまうのか？

2011年3月11日東日本大震災と同時に発生した東京電力福島第一原発事故。この大事故によりこれまでの「原発安全神話」は完全に崩壊しました。原発を運転する以上、放射性物質の放出にいたる過酷事故は起こることが証明されました。

しかしあの時危機に瀕したのは福島第一原発だけではなかったのです。茨城県の東海第2原発も冷却機能の一部を失い、**あわや大事故寸前だった**ことがのちにわかりました。

この3.11の時点から東海第2原発は施設の修理と定期検査の名目で停止したままでしたが、**日本原発はこの被災原発・東海第2を再稼働させようと準備に入っています。**

東海第2原発が大事故を起こせば、深刻な被害は30キロ圏内の100万人近くの人々ばかりではなく、

首都圏にまで及ぶ事が想定されています。

このことを茨城県内の方々はもちろん、広く東日本にお住まいの方々にも、**他人ごとではない問題**であると知ってほしいのです。この思いから、私たちは、東海第2原発のそばから風船を空に放ち、その風船が「どこへ」そして「どこまで」到達するのかを確かめてみたいと思うようになりました。この風船は東海村境、市町村境、あるいは県境も越え、皆様の元へ届くかもしれません。東海村だけではない、その到達地も東海第2原発の「現地」ということとなります。

2014年4月27日（日）に東海村豊岡海岸から1,000個の風船を空に放ちます。

その後数日間でこの風船は東日本の様々な土地に飛んで行くと考えられます。風船を拾われた方からご連絡をいただき、放射性物質に見立てたこのデータをWEB上に公開していきます。（呼び掛け文より）

この東海第2原発バルーンプロジェクトを応援するサポーター大募集！

※常総組合員の分は、生協でまとめて申し込みます。
※右の「申し込み用紙」と小銭を封筒に入れて生協の配達時にご提出ください。

下記2つのことに広くご協力をお願いします。

(1) あなたの脱原発への想いを1口200円に託してください！

- ・200円で当日空に放つ風船を1個準備できます。
- ・一人何口でもOKです。“大人買い”も大歓迎！

(2) 風船を拾ってください！

- ・風船を飛ばす当日、またその後数日間、あなたのお住まいの地域に風船が飛んできていないかチェックをお願いします。もし見つけたら、ぜひ風船についている連絡先へご一報ください！
- ・風船は自然界に負担が少ないエコ風船を使用します。

※エコ風船「Ecolovy Baloon」とは従来のいわゆるゴム風船とは異なり、紫外線・熱・機械的圧力のどれか1つ、あるいは2つ以上の条件が加わることで素材が分解し始め、最終的には「水」と「二酸化炭素」と「バイオマス（生物資源）」に分解される素材の風船です。

- ・会計報告、風船到達状況は後日、「原発事故から暮らしを守るネットワーク」ホームページで公開していきます。

キリトリ

東海第2バルーンプロジェクト・サポーター 【申し込み用紙】

コース： _____

班名： _____

お名前： _____

申し込み口数（1口200円＝風船1個）

【 】口【 】円

4月27日（日）東海村豊岡海岸から1000個の風船を空に放ちます。

●会場は東海村豊岡海岸です。ナビやWEB地図では正確な位置までは出ませんが「茨城県那珂郡東海村豊岡1」と入力すると近隣のクリーンセンターが表示されます。近くまでは行くことができます。

●下記の地図をご参考に「豊岡なぎさの森公園」を次の目標に進んでください。



【利根川環河川敷境保全実行委員会】

2014年3月2日（日）朝9時～11時頃まで

参加者募集！

利根川河川敷を みんなの力できれいにしましょう！

第14回 利根川河川敷 グリーン作戦

【日時】3月2日（日）
朝9時～11時 小雨決行

※開催の問い合わせは、守谷市のホームページでも確認できます（「守谷市 クリーン作戦」で検索）。

【規模】900人前後

【集合場所】守谷市・浅間神社（右地図参照）
（守谷市高野318-1）

※生協協会は、朝8時半に生協本部に集合。

【服装】長靴、長ズボン、長そでシャツ、軍手

【主催】利根川河川敷環境保全実行委員会
（市民団体、環境団体、企業ほか30団体）

【共催】守谷市 【後援】国土交通省



河川敷の放射線量は、昨年11/1段階で0.13 μ Sv/h（地上から50cm）です。今年も大人のみなさん中心にがんばります。

近所のみなさん、流域の皆さん！ 一緒に、利根川の河川敷をきれいに しませんか？

国民の環境意識が高まり、川を直線化したり、岸をコンクリート化する効率性重視の河川管理、土木公共事業に批判が強まったことを受けて、1997年に「河川法」が改正され、旧来の「治水」「利水」だけだった法の目的に「河川環境の整備と保全」が加わり、「国民、市民が水辺環境に親しめる河川作り」に転換されました。改正から16年が経ちました。

生協がある守谷市では、こうした国の動きの中で、河川敷の自然を守りながら、国の河川改修に少しでも市民の声を入れてゆ

こうと13年前に市民や環境団体、地域の婦人会などの団体が集まって「守谷利根川環境保全実行委員会」が発足し、常総生協も役員として参加してきました。

すぐ近くにあるものの、日頃なかなか立ち寄らない利根川河川敷の様子を、清掃しながら家族や仲間と散策するのはいかがでしょうか。

短時間の開催ですが、ご参加お待ちしております。

昨年の様子



..... キリトリ

3/2 利根川グリーン作戦に参加します！

コース： _____ 班名： _____ 名前： _____

人数（おとな 名、子ども 名） 電話： _____

集合場所（ 生協本部 ・ 浅間神社（現地） ）